



こうきた 12月号

杉並区立高円寺北子供園

自己主張のぶつかり合いは学びの場

園長 須田なぎさ

子供園では楽しく笑顔で過ごしてほしいと思っておりますが、時折、保育室からは泣き声が聞こえてきます。「泣く」とは、「悲しみ、苦しみ、喜びや痛さなどを抑えることができず、声をあげたり、涙を流したりする。」とあります。子どもたちは、感情を言葉で表すことが難しいので、大きな声を出したり、攻撃的な行動をしたりしながら、泣くことで感情を表します。

先生たちは、泣いている子がいると、「どうしたの?」「今のはいやだったね。」と、まず子どもたちの気持ちや主張を十分に受け止めます。相手がいる場合は、「Aちゃんは、～しなかったみたいよ。」と相手の思いにも気付くことができるようにし、さらに納得をして気持ちの立て直しができるように、声をかけていきます。そしてさらに、泣くだけでなく、少しずつ言葉を使って伝えられるように援助しています。

子供園では、友達との関わりの中で、いろいろな感情を経験しています。泣いて自分の感情を表し自己主張し、先生に援助してもらいながら、表現の仕方を知り、友達の思いに気付き感情をコントロールするようになっていきます。自己主張のぶつかり合う場面は、重要な意味をもつ子どもたちの学びの場になっています。

子どもの欲求や周りに迷惑になるような行動を認めたままの対応を大人がすると、それはわがままになります。早く泣き止ませるために、お菓子やおもちゃを与えることも、泣けばお菓子やおもちゃを買ってもらえると誤学習し、さらに自分の欲求だけをし続けることになってしまい、解決にはなりません。

子供園で同年代の子どもが集団生活を過ごすことで、遊びを通して様々なことを学び、社会にできるための土台作りをしています。企業で人材育成をされている方が、社会に出たときに大事なものは、知識や学歴などではなく、困難な場面で、それに立ち向かう構えや、周囲の人とどう協力することができるかだ、という話をしていました。

友達同士の思いをぶつけ合って様々な経験をしてきた5歳児そう組が、学級のみinnで考えを出し合って、子ども会に向けて、劇づくりをしています。友達のいいところは認め合い、「もっとこうしたらいいのではないか?」と課題意識をもって考えを出し合っています。まだまだ意見が違ってめめることもありますが、みんなで素敵な劇をつくるために、頑張っています。人との関わりの中での自己主張のぶつかり合いを学びの場ととらえ、これから社会で生きていく上で、周囲の人と考えを出し合い、工夫をし、協力して困難を乗り越える力を育てていくことができるようにしていきたいです。ご家庭でお子さんの気になる様子があるときには、お知らせください。ご家庭と園とで共有して、お子さんの成長を支えていきましょう。

《12月の保育》

★3歳児 うさぎ組

走ることが大好きなうさぎ組の子どもたちは寒さに負けず、園庭で元気に体を動かして遊んでいます。保育室では空き箱をペットや電車などに見立ててつくり、つくったものをつかって遊ぶことを楽しんでいます。今月も戸外に出て体を動かす楽しさや、いろいろなものをつくったり見立てたりする楽しさを味わえるようにしていきます。

学級みんなでする活動では、お話を基に鬼遊びや製作など興味関心が広がっています。引き続き、子どもたちがお話の面白さを感じながら体を動かしたり、つくる、踊る、楽器を鳴らすなど表現を楽しんだりする姿に繋がっていくように援助していきます。

★4歳児 くま組

くま組の子どもたちは、遊びや学級の活動の中で、いろいろなものに変身して動いたり、ストーリーに沿って、友達や保育者と簡単なやりとりをしたりすることを繰り返し楽しむことができました。これまでの保育の中で楽しんできたことを、子ども会につなげていき、一人ひとりが表現する楽しさを感じられるようにしていきます。

また、寒い季節になってきましたが、今月も天気の良い日は、戸外へ出て思い切り体を動かして遊んでいきたいと思います。鬼遊びやボール遊び、大縄遊びなどを取り入れながら、いろいろな体の動きを楽しめるようにしていきます。

★5歳児 ぞう組

子ども会に向けて、劇に必要な物を考えて準備したり、自分の役・同じ役の友達と一緒にセリフや動きを考えたりして表現することを楽しんでいます。一人ひとりが自分なりの表現を楽しんだり、友達のよさに気付いたりしながら共通の目的に向かってみんなで力を合わせ、一つの劇を作り上げる満足感を味わえるようにしていきます。

子ども会後は、リース作りやコマ回し、縄跳びなど個々の課題に向かう遊びを楽しみます。自分なりにこだわって工夫して作ったり、自分なりのめあてに向かって繰り返し挑戦したりしていきます。

寒さも厳しくなってきますが、戸外で思い切り体を動かす心地よさを感じられるようにしていきますので、厚着になりすぎないようにお願いします。